**現場の週報から（令和3年1月4日～1月31日）**

**【1月4日～1月10日】**

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・10日に成人式を迎えたスタッフが2名おりました。泉紀さん、望亜さん、それぞれが振り袖姿を披露しに事業所に来てくれて、ユニットの皆さんと一緒に記念写真を撮りました。普段以上の可愛らしい姿に皆さん喜んでおりました。特にYさんはずっとニコニコし、写真を撮る時は隣をキープしていました。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・4日に新年会を行っています。ご希望があった「お寿司」を食べながらノンアルビールと梅酒で乾杯。グラスもいつものコップではなく、ちょっとおしゃれなグラスで乾杯しました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・7日に新年会を開催しました。当日は七草粥の日でお昼は七草粥を皆さんで七草の効能が書いてあるランチョンマットを読んで頂きながら召し上がっていただきました。職員が「昔飼ってた小鳥のえさにぺんぺん草食べさせたよ？？」「鳥が食べれるんだから人間も食べれるんだね」と盛り上がってる傍らに、七草をスラスラと言えるご利用者さんもいて、みんなから羨望の眼差し。昔懐かしの手作りの羽子板で羽根つきをされる方や、カルタ取りをされる方、福笑いをされて思いがけない顔のパーツに驚いているご利用者。様々な懐かしい遊びを選んでいただきました。最後に職員よる安来節で幕を閉じました。まだまだ踊りに磨きをかけなければと今年の目標になりました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・皆さんと七草がゆを作りました。おかゆに入れる食材などもご利用者へ伺いながら準備しました。地域によって入れる食材も様々でしたが、当日は緑の香りが立ったおいしい七草がゆが出来上がりました。「今時、家でも作らないから珍しいね」などの感想が聞かれました。

■デイサービスわかなの杜：菅原健さん

・５日と７日の２回を午前午後に分け、コロナ対策も行いながら東照宮まで初詣に行ってきました。ご本人達のアイディアでなるべく早く参拝したいという事で新年最初の週で計画を立てました。皆さんお賽銭を片手にしっかり手を合わせていました。「東照宮に何十年ぶりに来ました！ありがとう！」や「コロナに負けず良い年にしたいです！」と皆さん笑顔で話をして下さいました。天気にも恵まれ久しぶりの外の空気にお札やお守りを握りしめ深呼吸する当たり前の日常を感じることが出来たように思います。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・10日にお孫さんが成人式を迎えたMさんですが、10日はいずみの杜デイケアの通所日、デイに行かれてから、娘さんから一緒に写真を撮りたいとの相談あり、いずみの杜デイケアに相談し、娘さん、お孫さんにいずみの杜まで行って頂いて一緒に写真を撮られたそうです。普段はあまりお話をされないMさんですが、今日は帰りの送迎車の中で、いつもより沢山お話され帰られたそうです。

・１ＦのTさんの会津に住んでいるお孫さんから、手紙が来ました。お孫さんからは、「職員さんが読んであげて下さい」のメッセージと共に、「Tさんは、私のお母さんのような存在、Tさんの作ってくれた海苔餅が懐かしい」「コロナが収束したら会いにいきます」「私は今幸せです」などの文面があり、私達もほっこりする内容の手紙でした。代筆で返事を書いて、Tさんの写真を送りました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・４日に入居されたSさん、先日ご主人を亡くされたことから心配はしておりましたが、早くもGHゆかりの杜での生活に慣れてきたようです。テレビの前が自分の居場所、疲れたらお部屋で休む、誰に言われるまでもなく食事後は率先し台所に立ち洗い物や食器拭きを進んで行われる。にこにこ笑顔にこちらも思わず微笑んでしまいます。スタッフからは「一番ここでの生活を楽しまれている」という声も聞かれていました。もう少し暖かくなったら以前経営し働かれていた南光台のケーキ屋さん付近の散策に一緒に出かけたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・少し早いですが、２月に予定している節分（豆まき）のイベント開催に向けての企画準備を行っています。内容についての話し合いを少しずつ始めています。利用者さんの思い出や意見も取り入れながら企画を行い実行しみんなで楽しい時間を過ごしたいと考えています。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・Mさんの息子さんから予約外でのZOOM希望がありました。伝えたいことがあるとの事だったのでZOOMをつなぐと息子さんから「オヤジ、俺子供できたんだ。２ヶ月だ、（お嫁さんのお腹を映しながら）見えるだろ」とお嫁さんを紹介しながらの結婚報告でした。Mさんは「おー俺もじーちゃんになるのか…おめでとう」「そうか、初孫だ…」と何度もつぶやき、目には涙がうかんでいました。息子さんはすぐ伝えたかった、直接顔をみて報告したかったんだと思います。ZOOMという形にはなってしまいましたがMさんの人生のうれしい１コマに携わることができたような気がしました。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・6日1階ユニットで新年会を行いました。海鮮鍋を皆で囲みながら、ちらし寿司に三食なますとお正月ならではのメニューに舌鼓を打ちながら、普段食事の摂取量が少ない方も、ぺろりと全量召し上がられておりました。食事の後はご利用者とスタッフで絵馬を書き、新年に向けての抱負や、願いを綴りましたが、皆の願いはコロナの1日も早い収束一色で、今年こそはコロナを乗り越え、変わりなく健康で過ごしていきながら、ご家族やご友人との繋がりを取り戻したい気持ちが強く現れていました。

**【1月11日～1月17日】**

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・12日に新年会を開催しました。いつもはさくらGHと合同で行っていますが、今回はケアホームだけでの開催。「お餅を食べたいね～」との声に、今年は白玉粉に豆腐を混ぜ練った、白玉餅のようにして作ってみました。白玉を混ぜる方や、納豆を混ぜる方とご利用者が、率先して作り方をして下さり、あっという間に出来上がり。お雑煮、あんこ餅、納豆餅にしてのお昼ご飯。久しぶりに食べる方もいらっしゃり、皆さん喜ばれて食べられていました。今回、スタッフは一緒に食べることは出来なかったので、来年は一緒に食べれるようになるといいなあと思いました。



・フォトコンテスト、入賞させていただきありがとうございました。写真を探すときに毎回、ご利用者の表情がいいなあと思うものを探していき提出しています。感覚的みたいなものでしかないと思いますが、実際良いと言って頂けるのは、嬉しいです。何か表彰される時には、毎回元同僚の方が、おめでとうと連絡をくれました。一緒の職場でなくても、声を掛けてくれることが、今のご時世にはさらに嬉しいことだと感じました。

・大河原町では、成人式が予定通り行われました。Ｈさんのお孫さんが、式の帰りに寄って下さり、ガラス越しですが、写真を撮りました。

■いずみの杜診療所：後藤浩樹さん

・17日新年会イベントを行いました。「疫病退散」のDVDをスクリーン上映し、その後職員によるすずめ踊りも披露(國吉さん中心)、ボランティアさんを呼べない分、映画鑑賞・絵馬作成・書初め・タッチングなど各ユニットに分かれて行っております。様々な企画に現場の職員さんには感謝です。昼食も刺身盛り合わせと豪華な昼食にご利用者も満足でした。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・15日87歳の誕生日を迎えられた男性のKさん。ドライブがお好きで野球もされていたことから、利府の2軍の野球場へのドライブを計画させて頂きました。いつもご自分のタイミングで駐車している送迎車の定位置の助手席に乗って過ごされる時間もある方で、午前中もそのような様子が見られました。午後2時よりお声がけさせて頂きましたが、なかなか腰が上がらず上着を脱いだり・気分の波もあったりと同意は得られない状況であっという間に30分が経過しておりました。この間デイホームの今までの関りの慣習・粘り強さなのでしょう、何度も声掛けとアプローチをあきらめずに繰り返す介護の高橋さん・菊池さんがおりました。そのお陰で無事に乗車し利府の野球場へ。関係者の方が一塁ベースのシートを移動する作業をされており、その様子も含め球場の様子を間近で見て頂いたり、キャッチボールもできる範囲でして頂きたかったのですが、車から降りることは適わず僅かな時間で助手席より眺めて頂く形になりました。Kさんらしいよねと周りで話しをしておりましたが、何か少しでも意味のある誕生日の時間であったとするならば幸いです。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・節分にむけて、鬼の面をご利用者と一緒に作成しております。いつもは回収される食品トレーを利用して半紙を貼って鬼の顔を書いていただいてます。半紙を糊付けするのに、ご利用者から「小麦粉を水でといだので貼るんだよ」と教えて頂き貼り付けしていると、「違うよ、片栗粉だよ」と仰るご利用者もいました・・・今回は小麦粉でしたがご利用者から昔の知恵を教わることが本当に多いなと改めて感じました。今回も個性豊かな鬼の面が出来上がりそうです。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は、もはや定番となりつつある、マクドナルドのドライブスルーイベントがありました。デイサービスで存在を知ってからは、ご家族とも一緒に行ったとのお話しが飛び交っておりました。ご本人様はイベントに参加したいが、ご家族から許可が下りずにイベントに参加できない方もちらほら出ております。皆さん「ストレス溜まっちゃうよ～、でも、わかなに来れているから助かっているよ」とお言葉頂いております。今後もコロナ感染予防対策をしっかりとしていきたいと思います。

■デイサービスみやぎの杜：穗積茂さん

・14日にご利用者と一緒におでんを頂きました。「寒い時期のおでんはうまいな」「おでんの具は何でも好きなんだ」と一人一人が楽しみにしながらおでんを召し上がっていました。来週は、はっと汁作りを行います。温かい食べ物を食べて寒い時期を皆さんと一緒に乗り切りたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・さくらGHのお正月はめいっぱいお正月をしました。三日とろろに7日は七草。お粥が苦手な方がいないか聞き取り。皆さん7日はやっぱり七草がゆだなーと召し上がりました。13日には14日に飾る、みずの木とモチを準備し、「今もしてる家あるのかなー」と懐かしんでいました。17日Mさんの誕生日のお祝い。去年は体調を崩して次の誕生日は迎えられるかな…と家族さんが話していましたが、満面の笑みで迎えることが出来ました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・「がん月が食べたい」との声から、がん月作りを開始！「「お楽しみスイーツ係」のメンバーさんで作り上げ、みんなで食しました。

・15日は新年会を行いました。2日前から、ご利用者と作ったしそみそ、ずんだは小分け御膳に盛り付けられ、みんなで堪能しました。また、お花好きの方が集まり、新年会のために準備したフラワーアレンジメントは新年にふさわしいステキな出来栄えで、会を引き立てて下さいました。ひげダンスの余興とビンゴ大会で盛り上がりました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・11日お誕生日の方がいました。ご本人に誕生日に何が食べたいか？と聞くと「肉！」と答えられ、お寿司というイメージがあったので少し以外でした。当日はサイコロステーキと、ステーキ肉を用意し、夕食に出して食べました。89歳になりましたが、職員からとても８９歳には見えない。まだまだ若いですよ。等と言われ、「いやいや」等と少し恥ずかしそうに照れていました。30日にも誕生日の人がいます。その方は、食事ではなくケーキが食べたい！との希望だったので、1人ひとりの希望に沿って提供したいと思います。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・16日新年会、餅つきをしております。皆さんそれぞれ楽しまれ、美味しいと召し上がっておられました。生き物や植物のお世話がお好きな入居者さんがおり金魚を購入しております。（ホームで過ごす中での楽しみがふえればと思います）

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・15日2階ユニットにて書初めを行いました。新年の抱負を皆様思い思いに力強く筆を振るっておられました。「コロナに勝つ」「健康」「早春」等々、ホールに書き上げた作品を飾りましたが、ひときわ目立つ「赤鬼」の文字。鬼は外、福は内。の鬼の中には、コロナも含まれているようです。長い鬼退治になりそうですが、ご利用者の皆様のご協力を頂きながら感染予防の徹底に努めて参ります。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・16日はご利用されている男性の方が同一日の誕生日でした。1月下旬にお誕生日を迎えられる女性の方と３名のお誕生日をお祝いしました。ホットケーキミックスを混ぜる方、焼き上げる方、生クリームでデコレーションし盛り付ける方、ご利用される皆様でケーキを焼いて手作りケーキを作りました。皆さん大きい口を開けペロリと食されていました。

**【1月17日～1月24日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：髙橋秀和さん

・PPEを着用し汗をかきながら昼夜を問わず働いているスタッフ、希望の杜を守っているスタッフ、応援に来ていただいた方への感謝の気持ち、希望の杜が大好きと言うお年寄り、世の中の閉塞感へ向け、お年寄り・スタッフの有志チームで横断幕を作成しました。毎日勇気づけられながら仕事に励んでいます。



■グループホーム「けやき」：佐々木和之さん

・管理者の大崎さんが希望の杜のヘルプのため不在となり、応援として元けやきの渡辺なつみさんが来て下さり、まもなく応援期間終了となります。1年3か月ぶりとなりましたが、ブランクを感じさせない逞しくなった元けやきメンバーの姿に職員は勿論、利用者さんも安心出来たのではと思います。（ターミナル中のHさんは久々の再会に、最近感情の表現が難しくなってきましたが、普段と違う表情を見せてくれました）利用者さん、職員一同大崎さんが帰ってくるまで、皆でもうひと踏ん張りしていきたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・21日さくらGHは遅めの新年会をしました。メインは夕食のお寿司ですが、日中は羽子板風船バレーをしました。イベント毎に最近はみなさんお酒を飲んでいます。今回も梅酒やビールとお好きな物を選んで食事と共に楽しみました。Oさんが終えると「何回も言うんだけど、またこういう機会をお願いしますね」と楽しみにしていてくれます。

■デイホームいずみの杜：佐々木英光さん

・入院後久しぶりにご利用されたSさん、お迎え時は退院後体調変化もあったためか気分はさえずに乗車。こちらへ来られ表情も穏やかになり、気の合う女性利用者さん・職員と談笑するご様子も見られました。入浴や服薬の時ご同意頂けない場面もあり、午後になり自宅へ帰りたいお話しを度々されることもありました。それでもお話しをする中で聞いて下さり、美空ひばりのDVDを見て穏やかに過ごされる時間もあり、夕方になりました。「今日はありがとうございました。またよろしくお願いします」と、目に少し涙を浮かべ職員と一緒に挨拶されるご様子もありました。これからご本人、ご家族さん、関係する周りの方々と力を合わせて、より良い日常を過ごして頂けるよう少しずつ対話を積み重ねていきたいと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・年明けより行きたいとご希望のあった初詣に、天候を見ながら出かけました。換気を十分に行い、２台に分けて密にならないように出発。普段ドライブ外出を控えている方も初詣に行くと聞き、どうしても行きたいと話されご家族様に確認し、近場であればよいとの事で行ってきました。戻られると「はあ、良かった！ありがとうね」と声を掛けて下さり、何をお願いされてきたのか伺うと、いつも一緒にいる顔馴染みの方は車椅子移動で外出の機会が少ないため、その方の分までお願いしに行ってきたかったと教えてくださいました。「○○ちゃんとこれからも元気でゆかりの杜通えるように。春には一緒に花見に行けますように。何だか欲張っていっぱいお願いしてきちゃったよ」とマスク越しですが、嬉しそうなお二人の笑顔がしっかりとわかりました。

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・毎月恒例になってきているお料理イベント行いました。今回は「はっと汁」を作りました。ご利用者、職員と共に作りました。あくとり、味付けなどご協力を頂きながら作ることが出来ました。「温かくてうまいな」「おかわりします」と皆様、一人一人が「美味しいね」とお話がありました。今後もコロナ対策を考えながらイベントを行っていきます。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・年末にみなさんと作った干し柿で柿なます作りを行ったり、おはぎ作りを行い過ごしました。どんと祭も終わると正月気分も抜け、今はバレンタインや春に向けた装飾などの作成を行っています。「今年の桜は見に行けるかな？」などの声が聞かれていますが、是非満開の桜を見て頂きたいものです。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・Kさんが、得意の編み物で帽子を作って下さっています。昨年まで行っていた茶の湯の出張ボランティアや不定期の居酒屋がコロナの影響でできていない状況です。何とか感染対策を行いながら茶の湯だけでもとは考えておりますが、今のところ断念しております。Kさんからの会話からは、「出稼ぎにいきたいわね」と話されています。コロナが終息する前に、何とかKさんの想いを一緒に行いたいと思います。

・新年会を行いました。皆さんからのリクエストでお寿司をお昼に召し上がって頂きました。また、毎年お参りしていた初詣にも行けなかったので、スタッフ手作りのおみくじを引いて楽しんで頂きました。おみくじの中には「超大吉」「あなたは今年はめぶきの杜で一番運がいいです」というものもあり、大変盛り上がりました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・月曜日に「鍋パーティーイベント」を開催いたしました。コロナ予防対策をしっかり行ないながら実施いたしましたが、臨時のご利用はコロナも影響して数字的には伸びませんでしたが。しかし、参加された皆さんからは、「出汁が違うね～」「皆で食べると美味しいね」と大変好評でした。21日には東仙台包括が主催の地域の方々とコロナ対策・現状についてのセミナーに参加させて頂きました。この一年地域の皆さまがどのような気持ちで過ごされ、それぞれの分野で対策を行なってきたかを伺う良い機会でした。今まで途絶えていた「地域交流」も早く復帰出来ればと痛感致しました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・泊りの利用者さん達で夕食後に、広告紙で作るごみ箱の折り方をしました。年末年始に娘さんから教わったそうで見本を持ってきてくれました。その方も、「何回も娘に教わって折ったけど、どうしても忘れてしまうから折る順番を書いてもらったものがあるの。」と数字が書いてあるものをほぐして、いざ、みんなで折ってみました。「わがんないよ～、どっちに折るの？」と、職員も一緒に折りましたが、「やっぱりわかんないよ～・・・数字の順番書いてあるけど逆に難しい」とみんなでお手上げ状態でした。その日は諦めて、職員がネットで検索し折り方をマスターしたので、次の日の夕食後、利用者さん達に、「折れるようになったので、やってみませんか？」とお声がけすると、「頭痛くなっからやんないわ」と言うお返事が・・・((+\_+))　何事も利用者さんのやってみたい気持ちとタイミングは大切であると感じました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・24日に生け花イベントを実施しております。スタッフと一緒に行う方、最初から最後まで自力でこだわりの作品を作る方、色々な作品が出来てそれぞれが満足していたようです。作業後は抹茶をたてて参加者で和菓子を食べました。とても和やかな雰囲気でした。生け花はそれぞれお持ち帰りしていただきました。

**【1月25日～1月31日】**

■デイサービスみやぎの杜：穂積茂さん

・ドライブスルーイベントを行いました。利府町にあるスターバックスコーヒーに行きました。車内は常時換気、三密にならないように2台で向かいました。道中は「久しぶりのドライブはいいな」「楽しみだね」会話に花が咲いておりました。ドライブスルーで飲み物を頼みました。「美味しいね」「味がうすいな」などいろいろな意見を頂きました。今後も行っていきたいと思います。

■ゆかりの杜：佐藤理恵さん

・今月末となってしまいましたが、職員の「獅子舞」にて今年一年の健康祈願を行いました。獅子舞の口をカッカッと鳴らしながら出て行くと「何きたの？」「おおすごい！」「拍手！」と迎えて下さり、お一人お一人を回り頭をパクリ。「ありがたいね」と手を合わせながら健康を願う方、「やんだ、こっち来るな」と怖がる方、みなさんの所を回り終え「ではまた来年」と去ろうとすると拍手喝采で見送ってくださいました。皆さんの笑顔に来年はもっと盛り上がって行いたいと思いました。

■ゆかりの樹：大﨑雅之さん

・リフォームに向け皆さんとゆかりの大掃除、物の移動を行いました。懐かしい写真や、物品が出てくると手が止まり思い出話になったりしますが、みなさんの協力でなんとか終わらせることが出来ました。

■グループホームゆかりの杜：加藤知佐さん

・一部の職員と「今年の目標は関わりを深めること」そのためにはどうすればいいのか話し合う機会がありました。「関わりより業務優先」ではなく、たとえ30分でもしっかり向き合う時間を作る、そのためには関わりの時間を明確にし、その時間に合わせスタッフが業務を終えられるようにする。また入居者さんと一緒に調理を楽しむための仕組みを作りたい、無理だ、できないではなく、少しずつ実行していこうと意見もまとまりました。GHの在り方やそこで集う私たちの存在はどのようであるべきか。少しずつ同士を増やしながらみんなと一緒に進んでいきたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・編み物や「久しぶりにおはぎ食べたい」などの声から手作業、皆さんと一緒におはぎ作りをしました。おはぎで余ったあんこでイチゴ大福も作り食べました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・小麦粉の賞味期限がまじかになっており、量を消費するにはどうしたら良いか、献立担当の職員と考えたところ、寒い季節にぴったりのはっと汁を作ることにしました。前日の日に捏ねるのを力がある男性利用者さんに頼み、一晩寝かせた生地を今度は、女性のご利用者でちぎって頂きました。野菜や鶏肉と一緒に茹でようとしたら、「ダメ、生地だけ一回茹でた方がいいんだよ」と、今でも自分で食事作りをされているベテラン主婦の利用者さんから教わり、無事に透き通った澄んだ出汁のはっと汁が出来上がりました。味は勿論、利用者さんが二日間にわたって作ったはっと汁ですから！！心も身体も温まりました。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・応援に行っていた健さんが帰って来られて、職員も利用者さんも「久しぶり～待っていたよ」と笑顔のたえない一週間でした。特にイベントがなくても、いつもの顔ぶれが揃うというのは安心するし、嬉しいものだと改めて感じました。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・30日スタッフ佐野さんの異動に伴い送る会をしました。スタッフさんが作成したスライドショーを一緒に見ているみなさんの姿は介護する側、される側という感じではなく水平な感じがしました。佐野さんからの最後の一言で入居者さんも涙を流されておりました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・昼食準備や後片付け等において、ご利用者が率先してお手伝い頂く姿が多くみられるようになっております。ご家族にもゆづるにはデイにお手伝いに行ってるのよと報告される方もおり、活き活きとした表情をみてスタッフも本来目指すべきところが少しづつ感じ取り、お年寄りさんから学びや成長する機会を頂いています。

■介護老人保健施設いずみの杜：平澤文さん

・26日少し遅めの新年会を各ユニット毎に実施しました。当日はきちんと感染対策を講じた上で、ユニットのお母様方と一緒にお雑煮作り。「久しぶり包丁だから上手く出来ない～」と嘆く方もいましたが、完成したお雑煮の味はとても素晴らしいもので、皆さんで美味しくいただきました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・30日お誕生日の方がいました。ご本人のリクエストで、初めてフルーツサンドを作りました。若手職員が可愛いフルーツサンドの作り方を事前に調べ、栗やイチゴ、キュウイで飾り付けし、半分に切ると断面がハート型だったり、チューリップ型だったりと、とても可愛いフルーツサンドがで出来ました。お誕生日の方は勿論ですが、他の方特に女性陣が「凄いね！」「こんなのどうやって作ったの？」「可愛くて食べられない」等ととても喜ばれていました。初めて作ったフルーツサンド。また作ってみんなで目でも楽しみたいです。